

中学校外国語科における領域統合型の 言語活動の充実に関する研究

—領域と領域をつなぐツールとして、ICTを活用することを通して—

《補助資料目次》

【補助資料1】授業実践計画と実践構想	1
【補助資料2】授業実践で使用したワークシート	13
【補助資料3】生徒用事前アンケートと回答結果	21
【補助資料4】生徒用事後アンケートと回答結果	24

令和5年3月
岩手県立総合教育センター
長期研修生
所属校 山田町立山田中学校
山崎 裕美子

【補助資料1】授業実践計画と実践構想

1 授業実践計画

実施期間 令和4年9月7日～9月22日（全8時間）

実践対象 山田町立山田中学校 第3学年2クラス（54名）

2 実践構想

(1) 単元名 PROGRAM 5 The Story of Chocolate（開隆堂 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3）

(2) 内容のまとめり

書くこと ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

(3) 単元の目標と評価規準

ア 目標

フェアトレードについて関心をもってもらえるようなメッセージボードを作成するために、フェアトレードについて書かれた英文を読んで、事実や考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとめりのある英文を書くことができる。

イ 評価規準（「書くこと」の評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈知識〉 関係代名詞（主格）の構造や働きを理解している。 〈技能〉 社会的な話題に関する事実や自分の考えなどについて、関係代名詞（主格）や、簡単な語句、文を用いて書く技能を身に付けている。	社会的な話題やおすすめのフェアトレード製品について学校内外の様々な人に紹介するために、フェアトレードの良い点や紹介するフェアトレード製品について、おすすめポイント（事実）や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとめりのある文章を書いている。	社会的な話題やおすすめのフェアトレード製品について学校内外の様々な人に紹介するために、フェアトレードの良い点や紹介するフェアトレード製品について、おすすめポイント（事実）や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとめりのある文章を書こうとしている。

(4) 単元について

ア 生徒について

本単元が、「読んだことを基に考えを書く」領域統合型の言語活動を行うことから、以下について事前アンケートを行った。＊【補助資料】(pp.21-23)

(ア)「各領域における言語活動と、読んだことを基に考えを書く言語活動がどのくらい好きか」に対する回答結果について

「どちらかといえば、好きではない」「好きではない」という否定的回答は書く活動が73.2%、発表する活動が87.8%、読んだことを基に考えを書く活動が80.5%であった。本実践の対象生徒にとって、読んだことを基に考えを書く言語活動を行うことは心理的ハードルが高いことから、読んだことを基に考えを書く活動に比べて否定的回答の少ない、聞くことややり取りする活動から始めることで、活動への心理的ハードルを下げ、取り組みやすくなると考えた。

(イ)『「英語で書かれた文章を読んだことについて、自分の考えを英語で書くことができる」についてどのように感じているか』に対する回答結果について

「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」という否定的回答が83.0%であった。また、否定的回答の理由として、約半数の生徒が文章を読み取ること、8割以上の生徒が英語

で書くことに難しさを感じていることが分かる。その他の回答からは、語彙や文法などの知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることにつまずいていること、書きたい内容を既習の知識を活用して英語で表現することに難しさを感じていることが分かる。これらのことから、生徒が内容を読み取る場面や英語で表現する場面でのつまずきに対する手立てを講じる必要があると考えた。本実践ではそれらの場面におけるつまずきに対する手立てとしてICTを活用するが、それ以外にも目的に応じた文章の読み取り方や、既習事項を活用して英語で表現するにはどのようにすればよいか等の指導を併せて行うことにした。

イ 教材について

本単元では、「社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。」を目標に設定し、読んだことを基に考えを書く」領域統合型の言語活動を行う。本教材では、チョコレートの歴史やチョコレートのフェアトレードに関する題材が扱われている。フェアトレードは、生徒が社会科や家庭科など他教科でも触れてきている事項である。生徒にとって、教科書題材を通じて社会的な話題について考えることができる単元だと考える。言語材料としては、主格の関係代名詞を学習する。主格の関係代名詞は人やものについて、より詳しく表現することができる言語材料である。既習表現と比較しながら、主格の関係代名詞の構造や働きに気付くことができるように進めたい。

ウ 指導について

単元を通して「読んだことを基に考えを書く」領域統合型の言語活動に継続して取り組むことができるようにする。第3・4・5時において、「読んだことを基に考えを書く」言語活動を継続して行うことで、生徒が「読んだことを基に考えを書く」ことに少しずつ慣れていき、第6時では、それまでの言語活動への取組を生かして「読んだことを基に考えを書く」ことができるようにする。

単元のゴールの活動として、フェアトレードの良い点やおすすめフェアトレード製品について紹介するメッセージボードを作成する活動を設定する。単元の導入では、児童労働に関する英文を読んで自分の考えを書くパフォーマンス課題を行う。また、単元のゴールの活動のルーブリックを確認する。その後、「読んだことを基に考えを書く」ことについて、自分の現状を確認するとともに、ゴールの活動のルーブリックのどこを目指すか考える。そして、単元の学習を通して何をどのように頑張ればよいのかという自己目標と目標達成のための工夫を考えることで、見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。第5時後に、中間振り返りを行う機会を設定し、学びの自己調整を図ることができるようにする。

「読んだことを基に考えを書く」言語活動を行う際、次のように段階を踏んで行うことで、生徒が取り組みやすくなるようにする。まず、本文の内容理解では、逐語的な読み方をするのではなく、目的に応じて概要や要点を把握する読み方ができるようにする。次に、読み取った内容や考えを整理したことを基にペアを替えて複数回伝え合うことで、多様な視点を得て、内容面や言語面での改善を図りながら話すことができるようにする。最後に、話したことを基に英語で書くことで、「読んだことを基に考えを書く」ことができるようにする。

単元のゴールの活動では、それまでの時間でフェアトレードについて書かれた文章を読んで、フェアトレードの良い点やフェアトレードについての考えを書きためてきたことを基にメッセージボードを作成することができるようにする。

単元の終末では、友達の作成したメッセージボードを読み合うことで、内容面や言語面について学び合うことができるようにする。また、単元の導入で行った、児童労働に関する英文を読んで自分の

考えを書くパフォーマンス課題を再度行う。その後、単元の学習を振り返ることで、自己の変容を自覚的に捉えることができるようにする。

エ 研究との関わり

本研究では、複数の領域を統合した言語活動を行う際のつまずきとして想定される各場面（聞いたり読んだりした内容を理解する場面、話したり書いたりするために考えをもつ場面、考えを英語で表現する場面）における手立てとして、生徒が必要に応じてICTを活用することができるようにする。

(ア) 手立て1：「聞いたり読んだりした内容を理解する」場面におけるICT活用

① 学習者用デジタル教科書

教科書本文の内容を理解する際、文字を読むことが苦手なために内容を読み取ることが難しい場合に、生徒が必要に応じて音声聞きながら文字を読むことができるようにする。

② 検索機能

教科書の本文や教科書以外の初見の英文を読む際、既習の知識を活用したり推測したりしても読めない単語や意味の分からない単語がある等、内容を把握することに支障をきたす場合に、生徒が必要に応じて検索機能を用いて語彙や表現を調べることができるようにする。

(イ) 手立て2：「聞いたり読んだりして理解したことを基に自分の考えをもつ、思考を整理する」場面におけるICT活用

① 思考ツール、付箋機能

Google Jamboardの付箋機能を活用して指導者が作成した思考ツールを用いて、読み取った内容や自分の考えを整理することができるようにする。

② 検索機能

読み取った内容だけでは考えをもつことが難しい場合に、生徒が必要に応じて内容を補足する情報を収集することで考えをもつことができるようにする。

(ウ) 手立て3：「思考を整理したものを基に考えを英語で表現する」場面におけるICT活用

① 学習者用デジタル教科書

読み取った内容や自分の考えについてペアで伝え合う前段階として音読練習を行う際に、生徒が学習者用デジタル教科書の諸機能を活用して各自のペースで行うことで、本文の内容や発音など再度確認することができるようにする。

② 思考ツール、付箋機能

思考を整理したことを基にペアで伝え合う際、(イ)①で思考を整理したものをしながら話すことができるようにする。また、複数回ペアを替えて伝え合った後に、思考を整理したものをしながら書くことができるようにする。

③ 検索機能

読み取ったことを基に考えを英語で話したり書いたりする際、既習表現を使ったり、内容をかみ砕いて易しく言い換えたりしても、伝えたい内容を表現することが難しい場合に、生徒が必要に応じて検索機能を用いて語彙や表現を調べることができるようにする。

(5) 指導と評価の計画 (全8時間)

時間	ねらい (■)、言語活動等 (丸数字)	知	思	態	備考
1	<p>■単元の目標と学習内容について理解し、自己目標を設定する。</p> <p>①児童労働に関する英文を読み、自分の考えを書く。 【読む→書く】 [パフォーマンス課題 (事前)]</p> <p>②単元のゴールの活動を理解する。</p> <p>③単元の自己目標を設定する。</p>				<p>記録に残すことは毎時間行う。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かすことは十分留意する。</p>
2	<p>■主格の関係代名詞の働きや構造について理解する。</p> <p>①2ヒントクイズを通して、人やものについて詳しく説明する。</p> <p>②主格の関係代名詞の働きや構造について、様々な例を通して気付く。</p> <p>③①②を通して理解したことを自分の言葉でまとめる。</p>				
3	<p>■古代のチョコレートの特徴についてペアに伝える。</p> <p>①聞いたり読んだりして、概要や要点を把握する。</p> <p>②キーフレーズを基に古代のチョコレートの特徴について話したり書いたりする。 【読む→書く】</p>				
4	<p>■チョコレートの歴史について、一番驚いたことをペアに伝える。</p> <p>①歴史など時系列で書かれた文章を読み取る際に注目すべき点について考える。</p> <p>②①で確認した目的に応じた読み方をしながら、要点を読み取る。</p> <p>③キーフレーズを基に、チョコレートの歴史について一番驚いたことやその理由を話したり書いたりする。 【読む→書く】</p>				
5	<p>■フェアトレードの良い点やフェアトレードについての自分の考えを書く。</p> <p>①段落ごとに書かれている内容にふさわしいタイトルを考えることで、概要を把握する。</p> <p>②読み取ったことを基に、フェアトレードの良い点やフェアトレードについての自分の考えを話したり書いたりする。 【読む→書く】</p>		○	○	
6	<p>■教科書とは別の英文 (フェアトレードの良い点についての文章) を読み、フェアトレードの良い点やフェアトレードについての自分の考えを書く。</p> <p>①これまで学習してきた読み方を基に、要点を把握する。</p> <p>②読み取ったことを基に、フェアトレードの良い点やフェアトレードについての自分の考えを話したり書いたりする。 【読む→書く】</p>				
7	<p>■おすすめのフェアトレード製品について紹介するメッセージボードを作成する。</p> <p>①これまでフェアトレードの良い点について読んで理解してきたことやそれを通して考えてきたこと、また、紹介したいフェアトレード製品についてやり取りしたり調べたりしたことを基に、紹介文とともに1枚のメッセージボードを作成する。</p>		○	○	
8	<p>■友達のメッセージボードを読み、内容や英語表現について学び合う。</p> <p>■単元の学習を振り返り、できるようになったことやこれから頑張ることを書く。</p> <p>①メッセージボードを読み合い、紹介文の良かった点についてコメントを書く。</p> <p>②児童労働に関する英文を読み、自分の考えを書く。 【読む→書く】 [パフォーマンス課題 (事後)]</p> <p>③単元の学習を振り返り、できるようになったことやこれから頑張ることについて書く。</p>		○	○	
後日	ペーパーテスト	○			

* 【読む→書く】は、読んだことを基に考えを書く領域統合型の言語活動のことを指している。

(6) 各単位時間の展開案

第1時の展開案

	学習活動	指導上の留意点 (◇評価 【 】評価の観点)
導入 10分	<p>1 学習課題を把握する。</p> <p>(1) SDGsに関連する既習題材を振り返り、チョコレートやフェアトレードについて教師とやり取りし、題材に関する興味・関心をもつ。</p> <p>(2) フェアトレードについて知っていることをペア、全体で共有する。フェアトレードはSDGsの複数の項目に貢献するものであることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既習題材にもSDGsに関連する項目があることを振り返り、本単元ではフェアトレードを通してSDGsについて考えていくことを理解できるようにする。 他教科での既習内容であるフェアトレードに関する背景知識や、チョコレートなど身近な話題と関連付けるとともに、消費者の選択が鍵となっていることから自分事として捉えられるようにする。
単元の目標と学習内容について理解し、自己目標を設定しよう。		
展開 37分	<p>2 単元の自己目標を設定する。</p> <p>(1) 単元のゴールの活動を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童労働に関する動画「そのこ」を視聴する。 児童労働に関する英文を読んで、自分の考えを英語で書く。[パフォーマンス課題(事前)] 自分たちに何ができそうか全体で考える。 <p>(2) 単元の自己目標を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本におけるフェアトレードの知名度と認知度を知る。 単元の目標、学習の流れ、ゴールの活動のルーブリックを確認する。 教師が作成したメッセージボードを読み、ゴールイメージをもつ。 単元の自己目標を設定する。 <p>3 宿題を確認する。</p> <p>(1) 宿題として、自分が買ってみたいと思うフェアトレード製品を調べてくることを確認する。時間がある場合は、実際に調べてみる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「そのこ」と自分はどんなところが違うか考えながら視聴するようにする。 多少意味の分からない単語があっても、周辺の読み取れる内容から推測して読み取ることができるようにする。読んだり書いたりする際、必要に応じてタブレットを使用して構わないことを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>手立て1: 目的や場面、状況を理解する 検索機能</p> <p>手立て3: 考えを英語で表現する 検索機能</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 単元の学習の見通しがもてるようにする。 (1)で行った、読んだことを基に自分の考えを書く活動を振り返り、単元の目標を達成するために、どんな点をどのように頑張れば良さそうかを考えることができるようにする。 調べ方のヒントを示す。また、自宅で調べる手段がない生徒には、個別に対応する。
終末 3分	<p>4 学習を振り返る。</p> <p>(1) 単元の目標達成に向け、粘り強く取り組もうという意欲をもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単元の学習を通してできるようになるという前向きな気持ちをもてるようにする。
<p>《学習の振り返り例》</p> <p>自分は読むことが苦手だけれど、一語ずつ訳すのではなく推測しながら読めるようにしたい。また、フェアトレードについてあまり分からないので、もっと詳しく知って、メッセージボードで紹介できるようにしたい。</p>		

第2時の展開案

	学習活動	指導上の留意点 (◇評価 【 】評価の観点)
導入 5分	<p>1 学習課題を把握する。</p> <p>(1) ペアで2ヒントクイズを行い、人やもの、事柄について詳しく説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 提示されたお題について2つヒントを出して説明する(言語活動1回目)。 どんなヒントがあったか確認する。その後、関係代名詞を用いた教師の2ヒントを聞いて、違いに気付く(中間指導1回目)。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明することが難しい生徒は、単語だけでもいいので、なるべく知っている表現を使って伝えられるようにする。どのような情報を加えて説明すると分かりやすいか、生徒から引き出す(大まかな情報→詳細な情報)。 教師が説明するのではなく、生徒とのやり取りを通して、引き出すようにする。板書しておき、書き溜めていったものを基に、関係代名詞の働きや構造に気付けるようにする。
展開 42分	<p>人やものについて詳しく説明する表現について理解しよう。</p> <p>2 人やもの、事柄について詳しく説明する。</p> <p>(1) ペアで2ヒントクイズを行い、人やもの、事柄について詳しく説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回目の言語活動、中間指導を基に、1回目と逆の生徒が別の人に関するお題について2つヒントを出して説明する(言語活動2回目)。 どのようなヒントがあったか確認する。その後、関係代名詞を用いた教師の2ヒントを聞いて、違いに気付く(中間指導2回目)。 ものに関するお題について同様に行う。 今度は別のペアと、人、ものについて違うお題で同様に行う。 <p>3 主格の関係代名詞について理解する。</p> <p>(1) 1、2の活動の中で板書されたものから、関係代名詞の構造や働きについて気付いたことをノートにまとめる。</p> <p>(2) 本時の学習のまとめとして、テスト付き課題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 提示された選択式の問題から、正しいものを選んで解答する。タブレットで解答を送信後、各自で答え合わせを行う。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①言語活動1回目 生徒A：お題について2つのヒントで説明する。 生徒B：2つのヒントを聞いて、答えを言う。</p> <p>②中間指導1回目 どんなヒントがあったか全体で確認し、出てきたものを活かしながら教師が関係代名詞を用いた文にして2ヒントにする。 生徒は、そこから違いに気付くことができるようにする。</p> <p>③言語活動2回目 生徒A：2つのヒントを聞いて、答えを言う。 生徒B：1回目とは別のお題について2ヒントで説明する。</p> <p>④中間指導2回目 どんなヒントがあったか全体で確認し、出てきたものを活かしながら教師が関係代名詞を用いた文にして、2ヒントにする。 生徒は、そこから違いに気付くことができるようにする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 1回目の言語活動を行う際、言語材料は明示せずに行う。その後、内容面や言語面での中間指導を行い、2回目の言語活動を行う。教師の出す2ヒント(中間指導にあたる)では、生徒に使用させたい言語材料を教師が意図的に用いることで、気付きにつながるようにする。1、2の活動では、主格の関係代名詞 who、which について扱う。 解答する側の生徒は、色や形など知りたい情報について質問してよいことを伝える。 ペア→全体で共有し、教師が説明するのではなく、生徒とのやり取りを通して、引き出すようにする。その後、関係代名詞について補足を加えてまとめて確認する(明示する)ことで、生徒が体系的に理解してノートにまとめることができるようにする。 本時では英語で書く段階までは求めず、who と which を用いた主格の関係代名詞の違いと構造、働きについて理解できればよいものとする。that については、ワークブック等の文法説明を使って触れる程度にする。 解答結果を見て、誤答が多いものや、解説が必要なものを全体で確認する。
終末 3分	<p>4 学習を振り返る。</p> <p>(1) 2ヒントで説明する際、工夫したことやもう少し頑張りたいことについて書く。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《学習の振り返り例》 1つ目のヒントはどんな人やものかを説明して、2つ目からのヒントは具体的なものを説明するようにした。関係代名詞の使い方が分かったので、これから使って話したり書いたりできるようにしたい。</p> </div>

第3時の展開案

	学習活動	指導上の留意点 (◇評価 【 】評価の観点)
導入 5分	1 前時の復習をする。 (1) 前時に学習した内容について確認する。お題について2ヒントで説明をする。 2 学習課題を把握する。 (1) 健とエミリーのやり取りを聞き、何の話題について話しているか概要をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒とのやり取りを通して引き出す。 2ヒント説明では、cacao beans など本時扱う New Words で行う。
	original chocolate の特徴について、ペアに伝えよう。	
展開 40分	3 チョコレートの歴史について要点を把握する。 (1) original chocolate の特徴を聞き取る。 (2) 聞き取った内容をペアで確認する。 (3) 文字を見ながら再度聞き、聞き取った内容が合っているか確認する。 (4) original chocolate の特徴が書かれている箇所をペアで確認し、線を引く(学習者用デジタル教科書)。 (5) どんな特徴があったか全体で確認する。 4 original chocolate の特徴について書く。 (1) 各自のペースで音読練習をする。 (2) 思考ツールに提示されたキーフレーズを基に、ペアで original chocolate の特徴について伝え合う。 (3) 中間指導を踏まえて、別のペアと伝え合う(列ごとに移動してペアを替えて複数回行う)。 (4) (2)、(3)で伝え合ったことを基に、original chocolate の特徴についてノートに書く(何も見ずに→最後に教科書で確認する)。	<ul style="list-style-type: none"> 多少意味の分からない単語があっても、前後から推測して読むことができるようにする。 生徒とのやり取りの中で出てきたキーワードを用い、後の活動につながるようにする。 各自のペースでスピードを調節したり、意味を確認したりしながら音読できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>手立て3：考えを英語で表現する 学習者用デジタル教科書</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 教科書は見ずに、キーフレーズを頼りに伝えることで、どんなことをどのように表現すればよいか、思考・判断できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>手立て2：考えをもつ、思考を整理する 手立て3：考えを英語で表現する 思考ツール、付箋機能</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ペアを替えて複数回伝え合うことで、英語が苦手な生徒もペアの話したことを参考にして話せるようにする。 生徒の様子を見ながら中間指導を行い、内容面や言語面での改善を図りながら話すことができるようにする。 英語で話したり書いたりする際、必要に応じてタブレットで英語表現を調べることができるようにする。その際、文全体を翻訳するのではなく、単語レベルで調べるように伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>手立て3：考えを英語で表現する 検索機能 思考ツール、付箋機能</p> </div>
終末 5分	5 学習を振り返る。 (1) original chocolate の特徴について伝え合う活動をする中で、できるようになったこと、工夫したこと、真似したいと思ったこと、もっと頑張りたいことを書く。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>《学習の振り返り例》 初めは、キーワードを見ながらうまく言うことができなかった。でも、色々な人の言い方を知って、いいなと思った表現を真似して言っていくうちに、少しずつ言えるようになった。これからも、色々な人の言い方から学んで、言えることを増やしていきたい。</p> </div>	
	(2) 宿題を確認する。 次時に買ってみたいフェアトレード製品についてやり取りするため、まだ調べていない場合は調べてくる。	

第4時の展開案

	学習活動	指導上の留意点 (◇評価 【 】評価の観点)
導入 7分	1 買ってみたいフェアトレード製品についてやり取りする(教師-生徒、縦ペア)。 2 学習課題を把握する。 (1) 教師とのやり取りを通して、教科書本文への興味をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 教師と生徒のやり取りを通して、どのようにやり取りすればよいかイメージがもてるようにする。タブレットで製品の画像を示しながらできる場合は、活用できるようにする。 前時の学習内容が想起できるようにする。また、教科書の図を見ながらやり取りし、本時の内容につなげる。
展開 40分	チョコレートの歴史について、一番驚いたことをペアに伝えよう。 3 チョコレートの歴史について読み取る。 (1) 歴史など時系列で書かれたものを読む際、どのような点に着目して読み取ればよいか考える。 (2) (1)で確認したような表現が本文中にいくつあるか、各自確認する。 (3) 音声を聞きながら、再度確認する。 (4) ペアで確認する。 (5) どんな表現があったか全体で確認する。 (6) その時代に、どんなことがあったのか要点を把握しながら聞く。 (7) チョコレートの歴史について時系列で読み取り、思考ツール上のキープレーズを、年代と出来事をマッチングさせて並べる。 (8) ペアで確認する。 (9) 全体で確認する。 4 チョコレートの歴史について、一番驚いたことについて書く。 (1) 各自のペースで音読練習をする。 (2) Think 1、2に書かれているチョコレートの歴史について、一番驚いたことに線を引く。 (3) 教師とのやり取りを通して、どのように話せばよいかイメージをもつ。 (4) 思考ツールのキープレーズを基に一番驚いたことについてペアで伝え合う。中間指導を参考にしながら、内容面や言語面での改善を図りながら行う。 (5) (4)で伝え合ったことを基に、一番驚いたことについてノートに書く(何も見ずに→最後に教科書で確認する)。	<ul style="list-style-type: none"> 時間や順序を表す表現や数字などの時間的順序を示す語を手掛かりに、情報を読み取ればよいことを生徒とのやり取りを通して引き出す。 いきなり全文を読むのではなく、着目すべきポイントを確認した上で読むことで、苦手な生徒も取り組みやすくなるようにする。 読み方の指導を行う(一字一句すべてを読み取るのではなく、読み取る必要がある情報を読み取る。多少意味の分からない単語があっても、前後から推測して読む。) 文字を読むことが苦手な生徒は、学習者用デジタル教科書で音声と同期させながら内容を読み取ることができるようにする。単語の発音や意味が分からないものも、適宜確認できるようにする。 手立て1: 目的や場面、状況を理解する 学習者用デジタル教科書 思考ツール上のキープレーズを並べ替えることで、その後の活動につながるようにする。 各自のペースでスピードを調節したり、意味を確認したりしながら音読できるようにする。 手立て3: 考えを英語で表現する 学習者用デジタル教科書 うまく言えない表現については、どのように表現すればよいか学級全体で考えることで、内容面や言語面でどのように表現すればよいか考える視点をもてるようにする。 教科書は見ずに、キープレーズを頼りに伝えることで、どんなことをどのように表現すればよいか、思考・判断できるようにする。 手立て2: 考えをもつ、思考を整理する 手立て3: 考えを英語で表現する 思考ツール、付箋機能 英語で話したり書いたりする際、必要に応じてタブレットで英語表現を調べることができるようにする。その際、文全体を翻訳するのではなく、単語レベルで調べるように伝える。 手立て3: 考えを英語で表現する 検索機能、思考ツール、付箋機能
終末 3分	5 学習を振り返る。 (1) 前回と比べて、読み取ったり書いたりする際できたことやもっと頑張りたいことを書く。	<ul style="list-style-type: none"> 工夫してできたことや、改善が必要なことについて、自覚できるようにする。 <p>《学習の振り返り例》 教科書に書いてある表現や友達の使った表現を参考にして、自分の考えを書くことができるようになってきた。でも、ペアで話すときに、単語だけになることがあるので、なるべく語順を意識して文で話せるように頑張りたい。</p>

第5時の展開案

	学習活動	指導上の留意点 (◇評価 【 】 評価の観点)
導入 5分	1 買ってみたいフェアトレード製品についてやり取りする (教師—生徒、横ペア)。 2 学習課題を把握する。 (1) 教師とのやり取りを通して、教科書本文への興味をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 教師と生徒のやり取りを通して、どのようにやり取りすればよいのかイメージがもてるようにする。タブレットで製品の画像を示しながらできる場合は、活用できるようにする。 写真から分かること等やり取りを通して、本文の場面を予想できるようにする。
展開 40分	フェアトレードの良い点や、フェアトレードについての自分の考えを書こう。 3 フェアトレードについて読み取る。 (1) 写真中の子供が何をしているのかが分かる文を探し、線を引く。 (2) 本文を読んで、一段落目と二段落目の内容にふさわしいタイトルを選ぶ。 (3) 音声を聞きながら再度本文を読み、選んだタイトルで良かったか確認する。 (4) なぜそのタイトルを選んだのか、該当する箇所を示しながらペアで確認する。 (5) 全体で確認する。 4 フェアトレードの良い点やフェアトレードについての自分の考えを書く。 (1) 各自のペースで音読練習をする。 (2) 思考ツールに示されたキーフレーズを基に、フェアトレードの良い点についてペアで伝え合う。中間指導を参考に、内容面や言語面での改善を図りながらペアを替えて複数回行う。 (3) (2) で伝え合ったことを基に、フェアトレードの良い点やフェアトレードについての自分の考えをワークシートに書く (何も見ずに→最後に教科書で確認する)。	<ul style="list-style-type: none"> 多少意味が分からない単語があっても前後から推測して読むことができるようにする。 生徒とのやり取りの中で出てきたキーフレーズを用い、その後の活動につながるようにする。 各自のペースでスピードを調節したり、意味を確認したりしながら音読できるようにする。 教科書は見ずに、キーフレーズを頼りに伝えることで、どんなことをどのように表現すればよいか、思考・判断できるようにする。 生徒の様子を見ながら中間指導を行い、内容面や言語面の修正を図りながら話すことができるようにする。 英語で話したり書いたりする際、必要に応じてタブレットで英語表現を調べることができるようにする。その際、文全体を翻訳するのではなく、単語レベルで調べるように伝える。 <p>◇社会的な話題や読んだことを基に、事実や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書いている。【思考・判断・表現】(ワークシート)</p> <p>◇社会的な話題や読んだことを基に、事実や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】(ワークシート、行動観察)</p>
終末 5分	5 学習を振り返る。 (1) 前回と比べて、読み取ったり書いたりする際、できたことやもっと頑張りたいことを書く。 《学習の振り返り例》 教科書に書いてある表現や友達の使った表現を参考にして、自分の考えを書くことができるようになってきた。でも、ペアで話すときに、単語だけになることがあるので、なるべく語順を意識して文で話せるように頑張りたい。 (2) これまでの言語活動への取組を振り返り、今後の言語活動に向けて改善点を明確にする。	<ul style="list-style-type: none"> 前時に確認した、言語活動への取組に対する改善点が生かされているか意識させる。

第6時の展開案

	学習活動	指導上の留意点 (◇評価 【 】評価の観点)
導入 5分	1 紹介したいフェアトレード製品のおすすめポイントについてやり取りする。 2 学習課題を把握する。 (1) 教師とのやり取りを通して、前時の内容について復習するとともに、本時に学習する英文の内容への興味をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 宿題で調べてきたメモを基に、知っている単語や表現で伝えることができるようにする。画像があれば、タブレットで製品の画像を見せながら伝える。
展開 40分	フェアトレードの良い点やフェアトレードについての自分の考えを書こう。 3 フェアトレードの良い点について読み取る。 (1) 本文を読んで、フェアトレードの良い点がかかれているところに線を引く。 (2) 教師の範読を聞きながら、再度確認する。 (3) ペアで確認する。 (4) 全体で確認する。 4 フェアトレードの良い点やフェアトレードについての自分の考えを書く。 (1) 各自のペースで音読練習をする。(指導者が範読した音声データを活用) (2) 思考ツールに示されたキーワードを基に、フェアトレードの良い点についてペアで伝え合う。中間指導を参考に、内容面・言語面での改善を図りながらペアを替えて複数回行う。 (3) (2) の内容にフェアトレードについての自分の考えを加えて、ペアに伝える。中間指導を参考にしながら、内容面や言語面での改善を図りながら行う。 (4) (3) で伝えたことを基に、フェアトレードの良い点やフェアトレードについての自分の考えを書く。	<ul style="list-style-type: none"> 教科書とは別の英文を読み、フェアトレードに関連する事柄への理解を深めることができるようにする。 読めない単語や意味が分からない単語は、辞書やタブレットを使用して調べてもよいことにする(一字一句調べるのではなく、内容把握に支障をきたすような場合に調べる)。 生徒とのやり取りの中で出てきたキーワードを用い、その後の活動につながるようにする。 発音が分からない単語は、必要に応じてタブレットで調べることができるようにする。 キーワードを頼りに伝えることで、どんなことをどのように表現すればよいか、思考・判断できるようにする。 考えをもつことができない場合には、内容を補足する情報を収集するなどして、考えがもてるようにする。 ペアを替えて複数回伝え合うことで、英語が苦手な生徒もペアの話したことを参考にして話せるようにする。 生徒の様子を見ながら中間指導を行い、内容面や言語面での改善を図りながら話すことができるようにする。 英語で話したり書いたりする際、必要に応じてタブレットで英語表現を調べることができるようにする。その際、文全体を翻訳するのではなく、単語レベルで調べるように伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 手立て1：目的や場面、状況を理解する 検索機能 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 手立て3：考えを英語で表現する 検索機能 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 手立て2：考えをもつ、思考を整理する 思考ツール、付箋機能、検索機能 手立て3：考えを英語で表現する 思考ツール、付箋機能 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 手立て3：考えを英語で表現する 検索機能、思考ツール、付箋機能 </div>
終末 5分	5 学習を振り返る。 (1) これまでの取り組みと比べて、できたことや、改善したいことを振り返りシートに書く。 《学習の振り返り例》 前回は比べて、つなぎことばに注目しながらだいたいの内容を読むことができた。フェアトレードの良いところについても少し理解できたので、メッセージボードを作るときにも、このことに触れて書けるようにしたい。 (2) 宿題を確認する。 本時の帯活動でフェアトレード製品のおすすめポイントを伝えてみて、さらに必要だと思った情報や表現について調べてくる。	

第7時の展開案

	学習活動	指導上の留意点 (◇評価 【 】 評価の観点)
導入 6分	<p>1 紹介したいフェアトレード製品のおすすめポイントについてやり取りする。</p> <p>2 学習課題を把握する。 (1) 第1時に読んだ「そのこ」がSNSに投稿したメッセージを基に、単元のゴールとなる活動の目的とループリックを再度確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時のやり取りと宿題で調べてきたことを基に、前回とは別のペアに伝える。画像があれば、タブレットで製品の画像を見せながら伝える。 目的意識をもって取り組むことができるようにする。
展開 40分	<p>フェアトレードについて学校内外の様々な人に関心をもってもらえるように、おすすめフェアトレード製品について紹介するメッセージボードを作成しよう。</p> <p>3 メッセージボードを作成する。 (1) フェアトレードの良い点や、フェアトレード製品のおすすめポイント、自分の考えなどについて前時まで書きためてきたものを基に文章の構成を考えて書く(ワークシートまたは Google Jamboard)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> これまで書きためてきたことを基に構成を考えることができるようにする。良いメッセージボードの視点を確認する。考えをもつことが難しい場合には、内容を補足する情報を収集するなどして、考えがもてるようにする。 <p>手立て2：考えをもつ、思考を整理する 思考ツール、付箋機能、検索機能</p> <ul style="list-style-type: none"> なるべく既習表現を使ったり、内容をかみ砕いて易しく言い換えたりするなどして書くことができるようにする。必要に応じて、伝えたい内容を表現する語彙を辞書やタブレットで調べることができるようにする。 <p>手立て3：考えを英語で表現する 検索機能</p> <ul style="list-style-type: none"> レイアウト等に凝って時間がかからないよう、作成の目的と時間をかけるべきポイントを確認する。優先順位を確認し、始めに文章を作成し、その後に画像を貼り付ける。 ◇おすすめフェアトレード製品について学校内外の様々な人に紹介するために、フェアトレードの良い点や紹介するフェアトレード製品について、おすすめポイント(事実)や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。 【思考・判断・表現】(メッセージボード) ◇おすすめフェアトレード製品について学校内外の様々な人に紹介するために、フェアトレードの良い点や紹介するフェアトレード製品について、おすすめポイント(事実)や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】(メッセージボード、行動観察)
	<p>4 学習を振り返る。 (1) ループリックに沿って、作成した紹介文について振り返ることができるようにする。</p>	
終末 4分	<p>《学習の振り返り例》 フェアトレードの背景や良い点、フェアトレード製品のおすすめポイントと自分の考えについて、構成を意識して、分かりやすい表現を使って書くことができた。</p>	

第8時の展開案

	学習活動	指導上の留意点 (◇評価 【 】評価の観点)
導入 2分	1 学習課題を把握する。 (1) 教師の話聞き、学習課題を理解する。	
展開 13分	2 メッセージボードを読み合い、内容面や言語面での良い点に目を向け、今後の学習に生かす。 (1) 共有したメッセージボードを読み、内容面や言語面で良かった点についてコメントを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・良いメッセージボードの視点を共有する (フェアトレードについて知らない人にも分かるように書かれているか、そのフェアトレード製品を買ってみようと思うようなおすすめポイントが書かれているか、自分の考えが具体的に書かれているか、分かりやすい英語表現で書かれているか)。
終末 35分	3 単元の学習を振り返る。 (1) 単元のまとめとして、児童労働に関する英文を読んで、自分の考えを英語で書く。[パフォーマンス課題(事後)] (2) 単元の学習を通してできるようになったこと(変容の自覚)と、なぜできるようになったのか(変容の理由)、これからの学習で頑張りたいことについて書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を通して学習してきた読み方や書き方を活かして取り組むことができるようにする。読んで書く際、必要に応じてタブレットを使用してかまわないことを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>手立て1: 目的や場面、状況を理解する 検索機能</p> <p>手立て3: 考えを英語で表現する 検索機能</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ◇児童労働に関する英文を読んで、文中の問いかけに対するコメントを簡単な語句や文を用いて書いている。【思考・判断・表現】(ワークシート) ◇児童労働に関する英文を読んで、文中の問いかけに対するコメントを簡単な語句や文を用いて書こうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】(ワークシート、行動観察) ・これまでの振り返りシート等を見ながら、変容が自覚できるようにする。どのように書けばよいか分からない生徒には、何ができた/できなかったのか、その理由は何だと思えるかなど、やり取りしながら書くことができるようにする。 ◇言語活動への取組に対して見通しを立てたり振り返ったりして自らの学習を自覚的に捉えている。【主体的に学習に取り組む態度】(振り返りシート、行動観察) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>《学習の振り返り例》 すべての内容を読み取るのではなく、必要な情報を読み取ればよいことが分かったので、一つ一つの単語の意味をいちいち調べたりせず推測しながら読み取ることができるようになった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>考えを英語で書くことが苦手だったけど、なるべく習った表現を使って、簡単な内容にして書けばよいことが分かったので、前よりは英文を書けるようになった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〇〇さんは、自分の考えをととても詳しく書いていたので、自分も I have three reasons. First,~.のような書き方をまねして書いてみたい。</p> </div>
	(3) 質問紙調査(アンケート)に回答する。	

【補助資料2】授業実践で使用したワークシート

I 「読んだことを基に考えを書く」パフォーマンス課題（第1時、第8時）

3年 組 番 氏名

「そのこ」は今どうしているのでしょうか。

「そのこ」は、SNSに次のような投稿をしました。

これを読んで、文中の問いかけに対するあなたの考えを、コメント欄に英語で簡潔に書きましょう。

I'm very happy because I can go to school now. I don't have to work all day because fair trade chocolate gives us more money. I learned that every child has the right to go to school and learn. I had no dream before, but now I have a dream! Learning is very interesting for me. So I want to be a teacher in the future. But some of my friends have never been to school because they have to help their families. So I want to help them. Could you tell me your ideas?

コメント欄

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

PROGRAM5

The Story of Chocolate

単元学習シート

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



3年 組 番 氏名

1. 単元の目標とゴールの活動を確認しよう

(1) 山田中学校の目標

領域	3年生到達目標 (CAN-DO)
書くこと	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

(2) 単元の目標

フェアトレードについて関心をもってもらえるようなメッセージボードを作成するために、フェアトレードについて書かれた英文を読んで、事実や考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いて英文を書くことができる。

(3) ゴールの活動

フェアトレードについて学校内外の様々な人に関心をもってもらえるように、フェアトレードの良い点、紹介するフェアトレード商品のおすすめポイントや自分の考えなどを整理して、メッセージボードを作成する。

(4) ゴールの活動の評価基準 (ルーブリック)

条件1：フェアトレードの良い点について書かれている。
 条件2：紹介する商品のおすすめポイント (事実) が書かれている。
 条件3：自分の考えや感じたことが書かれている。

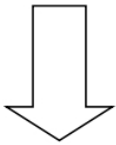
評価	内容 (適切さ)	英語表現 (適切さ)
A	フェアトレードの良い点や商品のおすすめポイント、自分の考えなどを詳しく述べたり、構成を考えて順序立てたりしながら、3つの条件を満たして書かれている。	ある程度まとまった量の英文が、ほぼ正確に書けている。また、事実や考えを伝えるための適切な表現を用いている。
B	3つの条件を満たして書かれている。	単語のつづりや語順に多少の間違いはあるものの、読み手が内容を理解できる程度の英語を用いて書かれている。
C	3つの条件を満たして書かれていない。	単語のつづりや語順が不正確な英文が多く、読み手が内容を理解することが難しい。

2. 単元の自己目標と、目標達成のための工夫を考えよう

(1) 今の自分の状況を確認しよう。

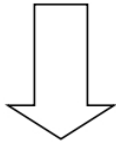
「そのこ」の SNS の投稿を**読んで**、自分の**考えを書く**活動を行ってみて、困ったことや難しかったことはどんなことでしたか。次から選んで、当てはまるものすべての口に✓をしよう。

- 特にない
- 書かれた内容を読み取ること
- 何を書けばよいか考えること
- 考えを英語で書くこと
- その他 ()



(2) 単元の自己目標と達成のための工夫を考えよう

①ループリックの「内容」と「英語表現」について、A、B、Cのどこを目指して頑張りますか。
右ページの1(4)の表に、目指すところを○で囲みましょう。



② ①で設定した目標を達成するために、何をどのように頑張りますか。具体的に書きましょう。

3. 単元の学習内容

各時間の学習課題が達成できましたか。

A:十分達成できた。

B:まずまず達成できた。

C:達成できなかった。

時	各時間の学習課題	各授業の振り返り	
		評価	振り返りの視点
1	単元の自己目標と学習内容について理解し、自己目標を設定しよう。	A B C	これから頑張りたいことや、調べてきたいフェアトレード商品、またはジャンルを書こう。
2	人やものについて詳しく説明する表現について理解しよう。	A B C	2ヒントクイズで説明する際、工夫したことやもう少し頑張りたいこと。
3	original chocolate の特徴について、ペアに伝えよう。 (Think1)	A B C	特徴を伝える活動をする中でできるようになったこと、工夫したこと、まねしたいと思ったこと、もっと頑張りたいこと。
4	チョコレートの歴史について、一番驚いたことをペアに伝えよう。 (Think2)	A B C	前回と比べて、読んだり書いたりするときに来たことや、もっと頑張りたいこと。
5	フェアトレードの良い点や、フェアトレードについての自分の考えを書こう。 (Think3)	A B C	前回と比べて、読んだり書いたりするときに来たことや、もっと頑張りたいこと。
6	フェアトレードの良い点や、フェアトレードについての自分の考えを書こう。 (教科書以外の英文)	A B C	これまでの取り組みと比べて、できるようになってきたことや、さらに改善したいこと。
7	☆ゴールの活動☆ おすすめのフェアトレード商品を紹介するメッセージボードを作成しよう。	A B C	ルーブリックを見て、メッセージボードに書いた文の振り返り。
8	メッセージボードを読み合い、内容や英語表現について学ぼう。 単元の学習を振り返り、できるようになったことやこれから頑張ることを書こう。	A B C	学級の友達のメッセージボードを読んで、なるほどと思ったこと、自分もまねしたいと思ったこと。

4. 中間振り返り

【現在の状況を確認し、目標達成に向けて今後何をすればよいか考えよう】

(1) これまでの学習で、できるようになってきたことは何ですか。

(2) これまでの学習で、難しいと思うことは何ですか。また、それができるようになるために、今後どのような工夫をしようと思いますか。

5. 単元の学習を振り返ろう 最後の授業で記入します

①この単元での学習を通して、できるようになってきたことは何ですか。また、なぜできるようになってきたと思いますか。

②これからの学習で、さらにできるようになりたいことは何ですか。

Ⅲ テスト付き課題（第2時）

関係代名詞の確認テスト

(1)～(6)の英文の中から、それぞれ適切なものを1つずつ選びましょう。
終わったら、見直しをして、送信ボタンを押しましょう。

(1)

20 ポイント

- Kikuchi Yusei is a baseball player who is from Iwate.
- Kikuchi Yusei is a baseball player which is from Iwate.

(2)

20 ポイント

- Cheetah is an animal who runs the fastest of all animals.
- Cheetah is an animal which runs the fastest of all animals.

(3)

20 ポイント

- Miura Asami is an announcer who like eating.
- Miura Asami is an announcer who likes eating.

(4)

20 ポイント

- Netherlands is a country which be in Europe.
- Netherlands is a country which is in Europe.
- Netherlamds is a country which was in Europe.

(5)

20 ポイント

- Ms.Yamazaki has some friends who live in America.
- Ms.Yamazaki has some friends who lives in America.

送信

フォームをクリア

IV フェアトレードの良い点に関する読み取り教材（第6時）

ダニエルは、エミリーの発表を聞いてフェアトレードに興味を持ちました。
そして、フェアトレードの良い点について調べたことを発表しています。



In developing countries, many people have been poor. I think
“fair trade” is one of the solutions. If we buy fair trade goods,
解決策
poor people can improve their lives.

I’ll tell you some examples. First, people can get more money
because companies pay fairly. Second, people can learn how to
grow food more effectively. Third, their children can go to
効率的に
school. If children can go to school, they can read and write. If
they can read and write, they can have a better job in the future.

Our choice can make a better world.
選択

94 words

【補助資料3】生徒用事前アンケート

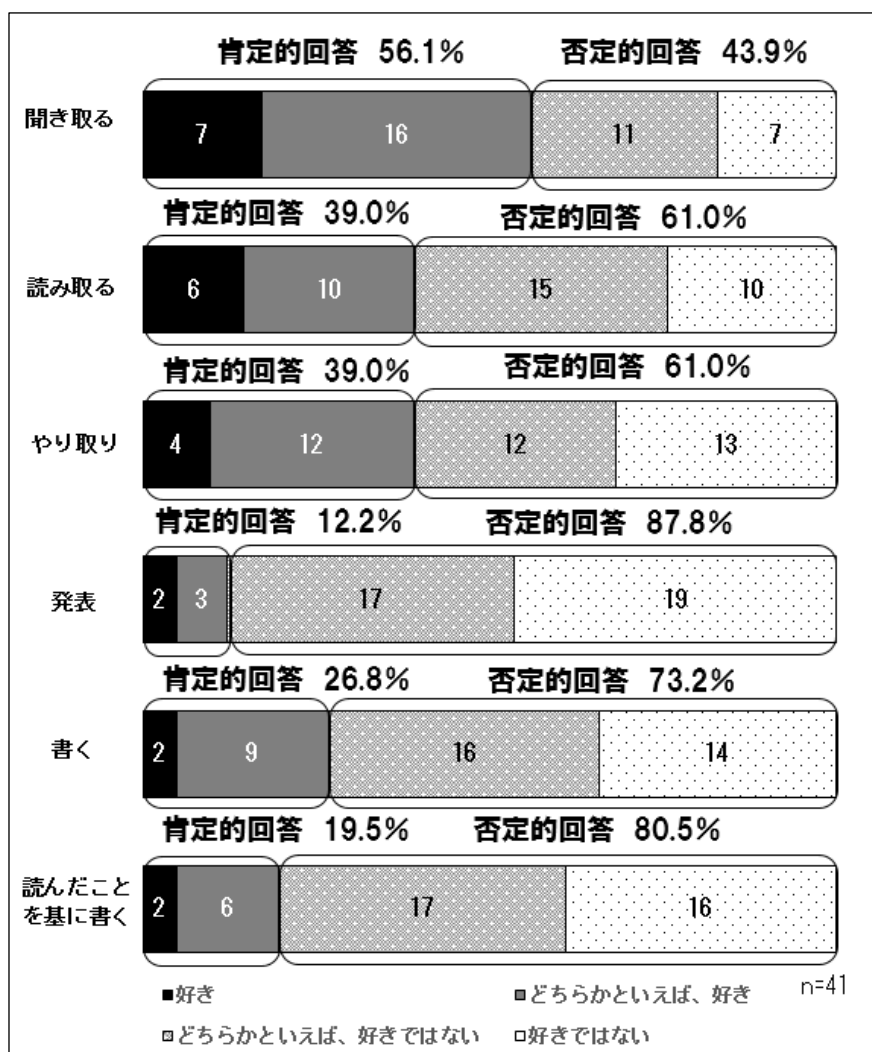
I 事前アンケートの概要

- | | | |
|---|-----|---|
| 1 | 調査名 | 英語学習に関するアンケート【事前】 |
| 2 | 目的 | 授業実践前の生徒の英語学習に関する意識について把握し、授業実践と実践後の分析に生かすため。 |
| 3 | 期日 | 令和4年8月29日（月） |
| 4 | 対象 | 山田町立山田中学校第3学年2クラス（54名） |
| 5 | 方法 | 質問紙法 |

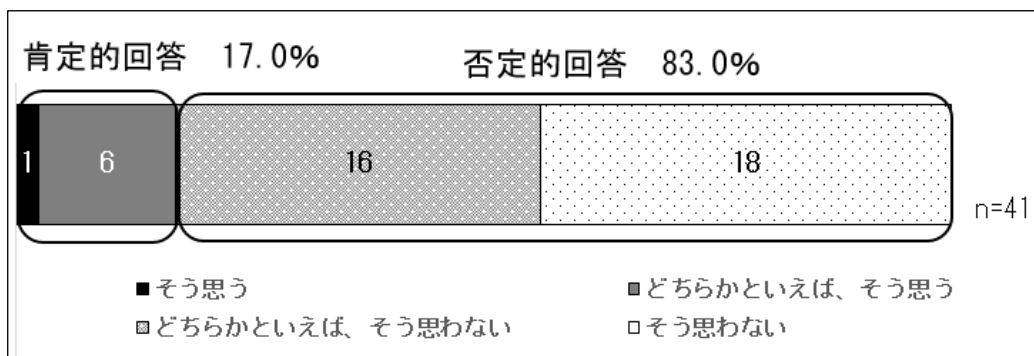
II 調査結果

1 「(1)～(6)の活動がどのくらい好きか」に対する回答結果

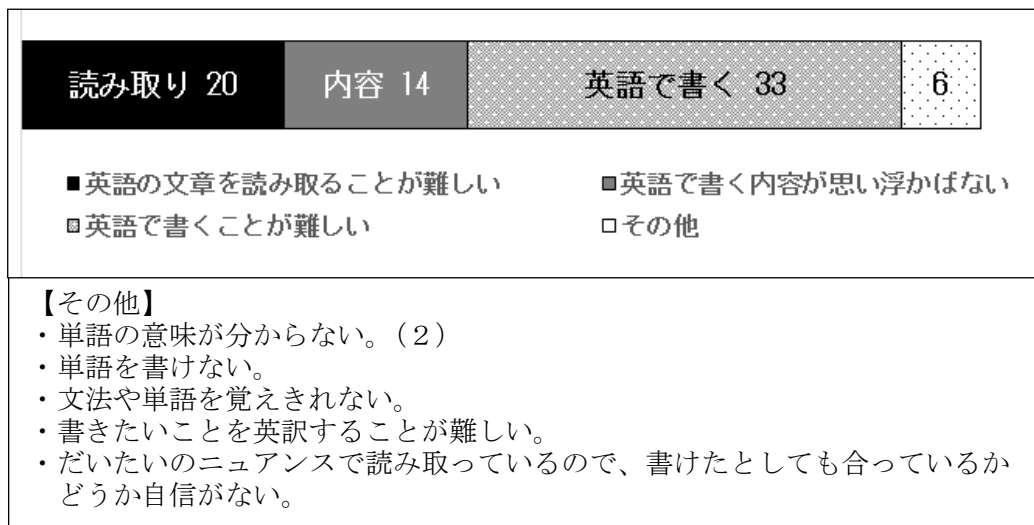
(1)	英語で話されている内容を聞き取る活動。
(2)	英語で書かれた文章を読み取る活動。
(3)	英語で自分の考えを友達とやり取りして話す活動。
(4)	英語で自分の考えを発表する活動。
(5)	英語で自分の考えを書く活動。
(6)	英語の文章を読んで、自分の考えを書く活動。



2 「『英語で書かれた文章を読んだことについて、自分の考えを英語で書くことができる』についてどのように感じているか」に対する回答結果



3 2で「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」と回答した理由（複数回答）



Ⅲ 質問紙

英語学習に関するアンケート 【事前】

このアンケートは、英語学習に関するアンケートです。このアンケートの回答は、学校の成績には関係ありません。それぞれの質問項目について、あなたの考えを教えてください。

3年 組 番 氏名 _____

1. あなたは、(1)～(6)の活動がどのくらい好きですか。
当てはまるものを1つずつ選び、**数字**に○をしてください。

		好き	好き どちらか といえば、	好き どちらか といえ ば、	好き では ない
(1)	英語で話されている内容を 聞き取る活動 。	1	2	3	4
(2)	英語で書かれた文章を 読み取る活動 。	1	2	3	4
(3)	英語で自分の考えを友達と やり取りして話す活動 。	1	2	3	4
(4)	英語で自分の考えを 発表する活動 。	1	2	3	4
(5)	英語で自分の考えを 書く活動 。	1	2	3	4
(6)	英語の文章を 読んで 、自分の考えを 書く活動 。	1	2	3	4

2. あなたは、次のことについてどのように感じていますか。
次のア～エから1つ選んで、○をしてください。

英語で書かれた文章を**読んだことについて**、**自分の考えを英語で書くことができる**。

- ア そう思う
イ どちらかといえば、そう思う
ウ どちらかといえば、そう思わない
エ そう思わない

3. 2で、ウまたはエに回答した人に聞きます。その理由はなぜですか。
次のア～エから選んで、○をしてください (**いくつ選んでもかまいません**)。

エを選んだ場合は、()に具体的な理由を日本語で書いてください。

- ア 英語の文章を読み取ることが難しいから。
イ 英語で書く内容が思い浮かばないから。
ウ 英語で書くことが難しいから。
エ その他 ()

これでアンケートは終わりです。記入もれがないか、もう一度確認してみましょう。
ご協力ありがとうございました。

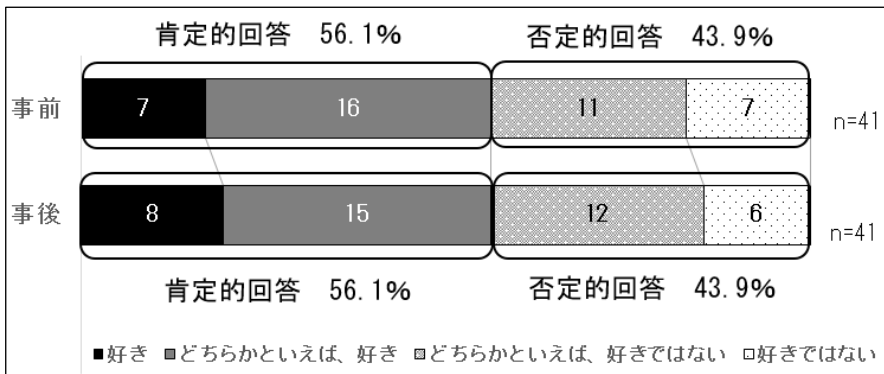
【補助資料4】生徒用事後アンケート

I 事後アンケートの概要

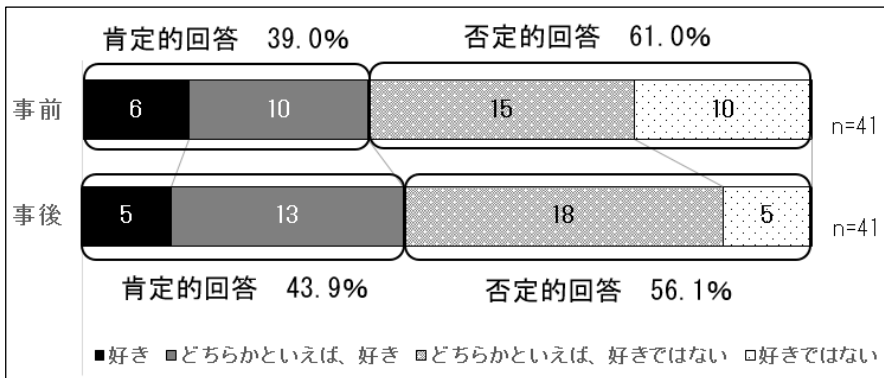
- 1 調査名 英語学習に関するアンケート【事後】
- 2 目的 授業実践後の生徒の英語学習とICT活用に関する意識について把握し、実践後の分析に生かすため。
- 3 期日 令和4年9月22日（木）
- 4 対象 山田町立山田中学校第3学年2クラス（54名）
- 5 方法 質問紙法

II 調査結果

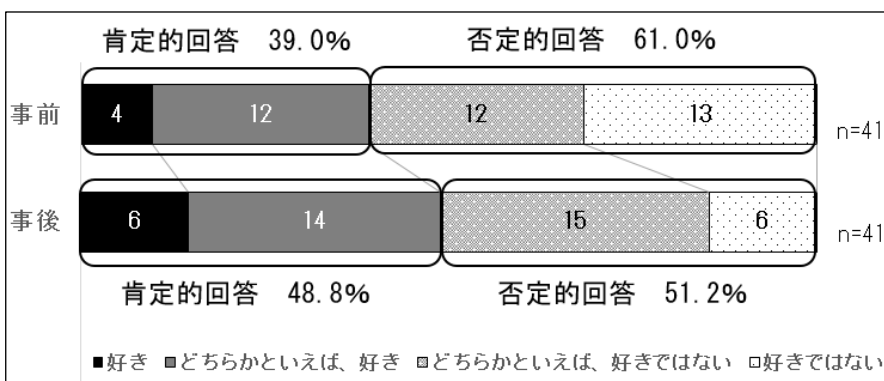
1 「(1) 英語で話されている内容を聞き取る活動がどのくらい好きか」に対する回答結果



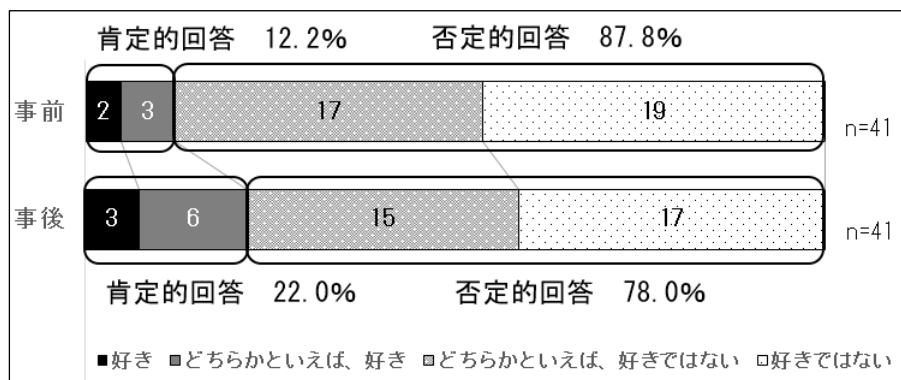
「(2) 英語で書かれた文章を読み取る活動がどのくらい好きか」に対する回答結果



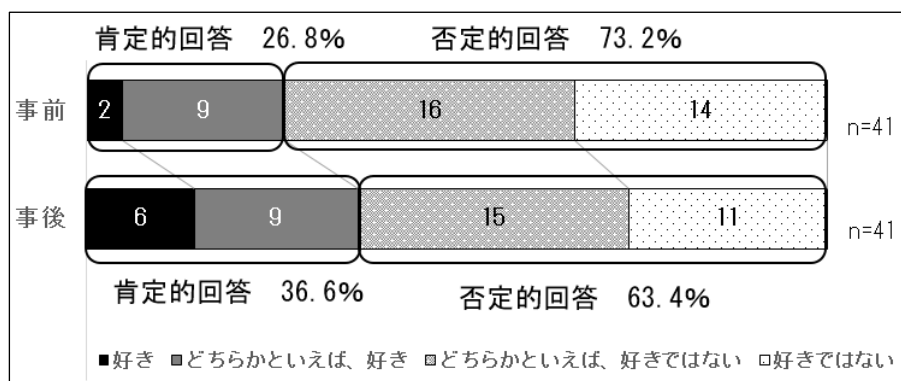
「(3) 英語で自分の考えを友達とやり取りして話す活動がどのくらい好きか」に対する回答結果



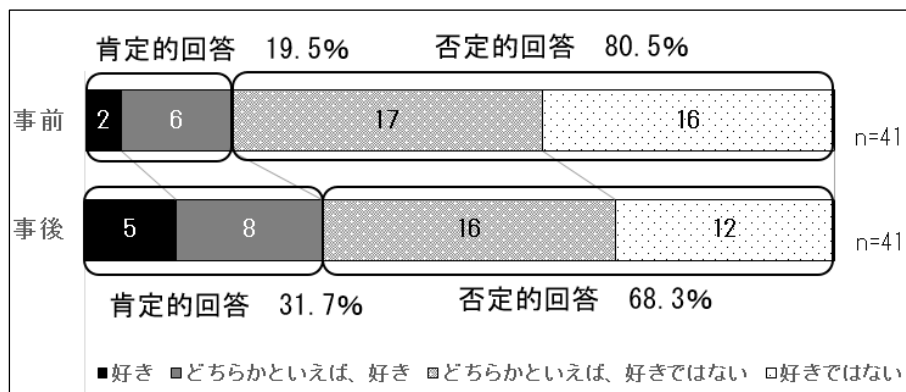
「(4) 英語で自分の考えを**発表する**活動がどのくらい好きか」に対する回答結果



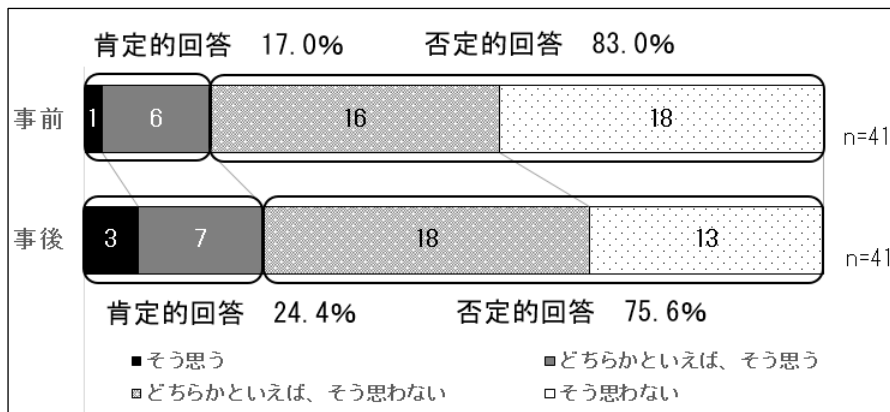
「(5) 英語で自分の考えを**書く**活動がどのくらい好きか」に対する回答結果



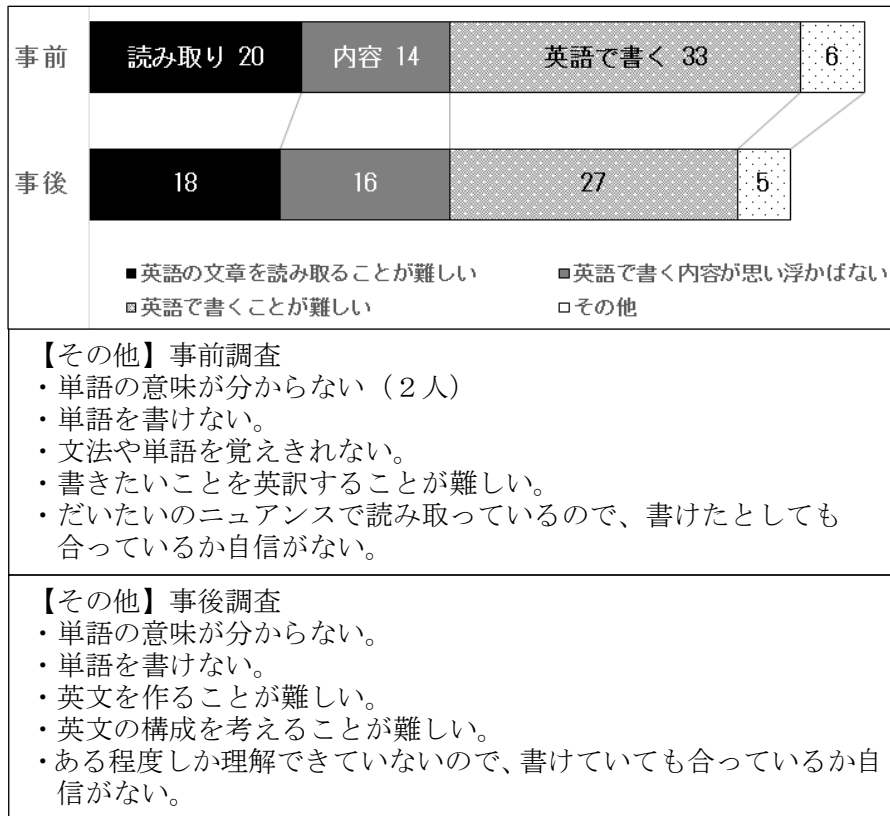
「(6) 英語の文章を**読んで**、自分の考えを書く活動がどのくらい好きか」に対する回答結果



2 『英語で書かれた文章を読んだことについて、自分の考えを英語で書くことができる』についてどのように感じているか」に対する回答結果

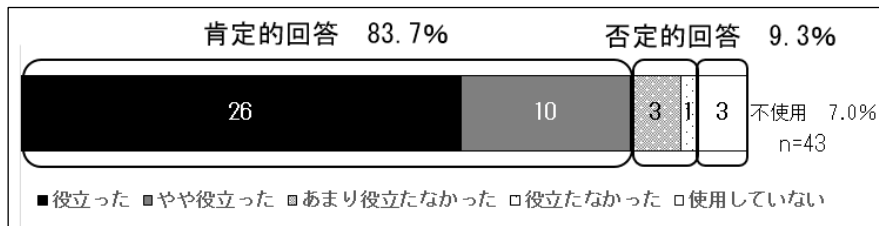


3 2で「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」と回答した理由（複数回答）

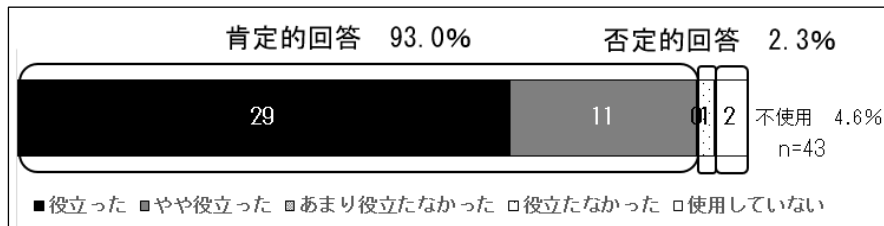


4 (1) 学習者用デジタル教科書やタブレットを使用した学習について

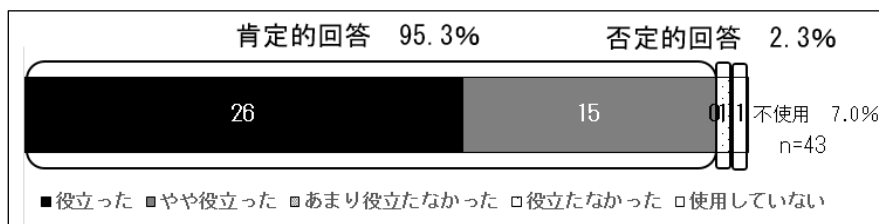
① 「学習者用デジタル教科書でスピードを調節して聞く使い方が役立ったかどうか」に対する回答結果



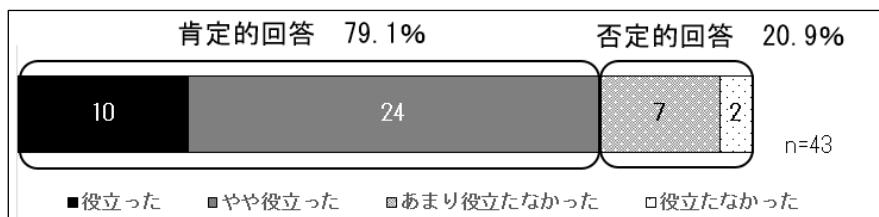
② 「学習者用デジタル教科書で何度も繰り返して聞く使い方が役立ったかどうか」に対する回答結果



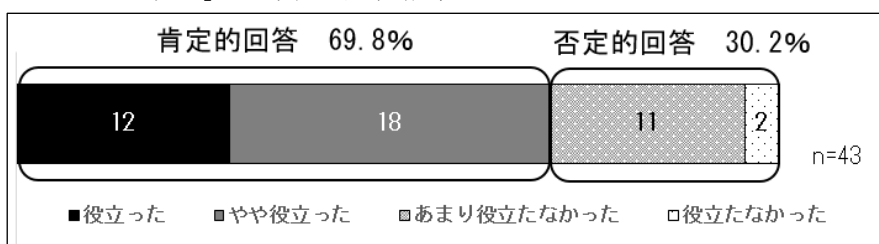
③ 「学習者用デジタル教科書で音声を聞きながら英語を読む使い方が役立ったかどうか」に対する回答結果



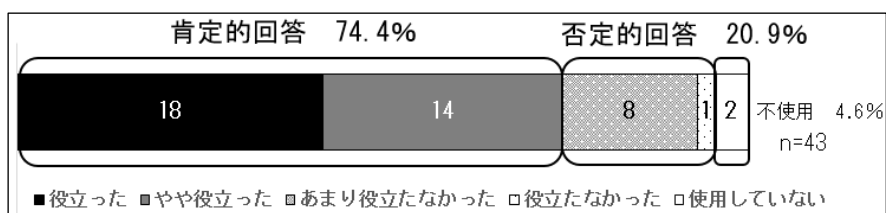
④ 「Google Jamboardを使って、考えを整理する使い方が役立ったかどうか」に対する回答結果



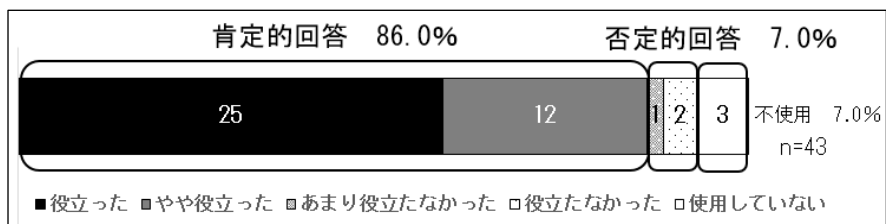
⑤ 「Google Jamboardで考えを整理したことを見ながら、友達とやり取りして話す使い方が役立ったかどうか」に対する回答結果



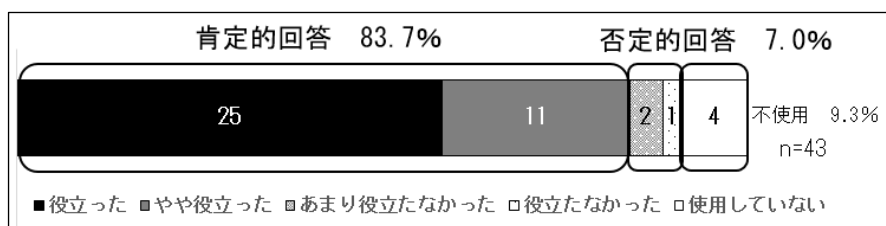
⑥「Google Jamboard で考えを整理したことを見ながら、英語で書く使い方が役立ったかどうか」に対する回答結果



⑦「読んだ内容についてさらに詳しく知るために、情報を調べる使い方が役立ったかどうか」に対する回答結果



⑧「考えを英語で話したり書いたりするための英語表現を調べる使い方が役立ったかどうか」に対する回答結果



(2)「(1)の①～⑧のうち、特に役立ったと思う使い方とその理由(複数回答)」に対する回答結果

①学習者用デジタル教科書 スピードを調節して聞く…18人

- ・自分に合ったスピードで聞くことができたから(8人)。
- ・普通のスピードだと聞き取れないところも、遅くすることで聞き取ることができた(5人)。
- ・発音の仕方を詳しく聞くことができるから。
- ・in a など、つながる言葉など注意しながら聞きやすかった。
- ・少しずつ文を覚えられたから。
- ・スピードを遅くすることで、読めない単語が読める単語になったから。
- ・何度も聞くと耳も慣れるし、自分のペースでできるので、やりやすかったから。

②学習者用デジタル教科書 何度も繰り返して聞く…17人

- ・分からなかったところを繰り返し聞くことで、分かるようになったから(5人)。
- ・何度も聞くことで、覚えやすくなる(3人)。
- ・自分で工夫して繰り返し聞けるから(2人)。
- ・何度も聞くと耳も慣れるし、自分のペースでできるので、やりやすかったから(2人)。
- ・自分の確認したいところを確認できるから(2人)。
- ・発音やアクセントが良くなったから。
- ・繰り返し聞けるので、それぞれの単語の読み方を確認できる。
- ・分からなくても、分かるまで聞ける。

⑧考えを話したり書いたりするための英語表現を調べる・・・12人
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の言いたいことを調べられたから（3人）。 ・分からない単語を調べて、組み合わせて文章にすることができた（2人）。 ・分からない発音やつづりを調べて活用できた（2人）。 ・使いたいけど分からない表現がたくさん分かるから（2人）。 ・英文など詳しく調べられたから。 ・文法が分かって良かったから。 ・どう書けばいいか迷ったとき、検索して探すことができた。
③学習者用デジタル教科書 音声聞きながら英語を読む・・・11人
<ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読むことで、発音などが分かったから（3人）。 ・音声を聞き取ってできるから、分からないところを聞ける（3人）。 ・音声を聞けるので、正しい発音を覚えられる（2人）。 ・リスニングの練習にも使える。 ・読めない英文でも、音声で聞いて覚えて、音読練習がしやすかったから。 ・聞きやすかった。
⑦読んだ内容についてさらに詳しく知るために、情報を調べる・・・8人
<ul style="list-style-type: none"> ・知りたいことをすぐに調べられるから（2人）。 ・フェアトレードについて書くときに、授業で学んだ以外に良いところを調べることができた。 ・読むだけでなく調べることで、さらに内容を知ることができるから。 ・フェアトレードについて詳しく知るために調べることができたから。 ・フェアトレード製品にどんなものがあるのかを調べることができた。 ・日本語で書かれたポイントを見て、どんな表現が使えるかよく考えられた。 ・学習だけでなく、知識も増えた。
④Google Jamboard を使って、考えを整理する・・・4人
<ul style="list-style-type: none"> ・考えを整理しやすかったから。 ・考えをまとめることができた。 ・英文を作りやすかったから。 ・考えを整理しながら自分の考えを言うことができるから。
⑤Google Jamboard で考えを整理したことを見ながら、友達とやり取りして話す・・・4人
<ul style="list-style-type: none"> ・考えを整理できたから話しやすかった（2人）。 ・内容の順番を自分が話しやすいように整理できるから。 ・ヒントとして使えるので、今まで習ったことを思い出しながら自分の言葉で伝えられたから。
⑥Google Jamboard で考えを整理したことを見ながら、英語で書く・・・1人
<ul style="list-style-type: none"> ・英文を書きやすかったから。

(3) 「(1)の①～⑧のうち、役立たなかったと思う使い方とその理由(複数回答)」に対する回答結果

④Google Jamboard を使って、考えを整理する・・・9人
<ul style="list-style-type: none"> ・どの順番で置くなど、分からなかった（2人）。 ・使い方が分からなかったなので、使うことができなかった。 ・あまり分からなかった。もう少し詳しく書いてほしかった。

<ul style="list-style-type: none"> ・説明をしっかりとしてくれないと、分からないときがあった。 ・難しい。 ・そもそも英単語が分からないので、何をやっているか分からなかった。 ・使い方が分かっても、その文を言うときに、言葉を付け足したりするのが分からなくなる。 ・タブレットの不具合で使用できなかった。
⑥Google Jamboard で考えを整理したことを見ながら、英語で書く・・・7人
<ul style="list-style-type: none"> ・やり方が難しかった（2人）。 ・英文にするのが得意でなく、大変だった。 ・使い方が分かっても、その文を言うときに、言葉を付け足したりするのが分からなくなる。 ・そもそも整理できなかった。 ・英語で書くことができたけど、そのまま写してしまったから。 ・タブレットの不具合で使用できなかった。
⑤Google Jamboard で考えを整理したことを見ながら、友達とやり取りして話す・・・6人
<ul style="list-style-type: none"> ・活動時間だけでやり取りするのができなかった。 ・整理して話すことがあまりできなかった。 ・使い方が分かっても、その文を言うときに、言葉を付け足したりするのが分からなくなる。 ・そもそも英単語が分からないので、何をやっているか分からなかった。 ・英語は使わない。 ・タブレットの不具合で使用できなかった。
⑦読んだ内容についてさらに詳しく知るために、情報を調べる・・・2人
<ul style="list-style-type: none"> ・良いサイトが見つからなかったし、ブロックされることがときどきあったから。 ・難しい。
⑧考えを話したり書いたりするための英語表現を調べる・・・1人
<ul style="list-style-type: none"> ・難しい。

5 「学習者用デジタル教科書やタブレットを使った学習に関する全体的な感想」に対する回答結果

タブレットを用いた学習の良い点
<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを使って勉強してみて、いつもと違ったやり方で楽しかったし、タブレットがあれば分からないこともすぐに調べられるので良いと思った。 ・単語が分からなくても調べることができたので良かった。 ・授業でもパソコンを使うことで将来のためのタイピングの練習にもなるので画期的だと思った。 ・タブレットは、どこをどう押せばいいか分からなかったりして、それに時間をとられてしまうこともあったけど、使い方が分かるようになるとうごく便利で使いやすいものだなと思いました。 ・タブレットを使った授業は初めてでいろいろ大変だったけど楽しくできたと思いました。今まで教科書メインでやってきて、タブレットを使ってとても新鮮だったし、慣れなかったけど、うまく使えて、英語力を up できたかなと思った。フェアトレードの紹介でも、工夫して作ることができました。

- ・タブレットはみんなの進み方やスピードがバラバラだったし、早く終わった人がひまになっていた。だけど、自分はタブレットを使ったほうが分かりやすく楽しかった。
- ・パソコンが本当に難しいので、教わった使い方しかできなくて大変だったけど、一つのもので色々できるので便利だなと思いました。本で調べるのも良いけど、一度にたくさんのことを調べられるのが楽しかったです。
- ・タブレットを使うから、普段の授業よりは楽しかった。調べたりできるので分かりやすかった。
- ・タブレットを使えば効率的に学習ができるけど、いろいろな物を検索するときに、その検索するまでのスピードで個人差が出てしまうので、そこが改善されれば、もっとタブレットを使った授業がしやすくなると思う。だけど、やっぱりタブレットは便利だと思った。調べたいことをすぐ調べられるし、皆の考えをすぐ共有できるからだ。
- ・今までの覚え方より少し覚えられることが増えた。
- ・デジタル教科書やタブレットを使うことによって単語の意味や読み方がすぐ分かったりして良かった。自分的に普通の教科書だけを使って学習するより、タブレットを使って学習する方が楽しかった。
- ・タブレットで分からない単語とかを調べることができるのが良かった。また、さらに調べたいことも前は教科書とかしかなかったから、役立つ部分がたくさんあったから良かった。
- ・タブレットを使いながら整理したり、デジタル教科書でポイントをつかむことができたので良かったです。調べものとかもすぐにできて見たい画像も見たりできたので良かったです。
- ・学習者用デジタル教科書やタブレットを使って学習したことで、色々な表現も見つかったし分かりやすかったです。
- ・調べたり、自分の書きたいことを書けるようになるのがすぐだったのでよかった。

タブレットを用いた学習の大変な点

- ・タブレットはあまり好きじゃない。インターネットが切れたり、思うように動かなかったり、自分の手で書いた方が早かったりするから。
- ・タブレットをたくさん使ってやってみて、やりやすいところもあったけど、やりにくいところもあった。自分の考えは紙とかにまとめて、最終的にタブレットが良いと思った。
- ・自分がパソコンに慣れていないのもあると思うけど、いろいろやることが多くて大変だなと思いました。
- ・タブレットに慣れていないところもあるので少し難しかった。
- ・タブレットと教科書やノートを切り替えながら授業を受けることが大変だった。
- ・パソコンの使い方に慣れていないから、コピーしたりするのが大変だった。だけど、しっかり頑張って、最後完成させることはできてよかった。
- ・大変だったところは、画像を共有するときにできなかったことが大変だったし、見づらいときがあったことです。
- ・教科書やファイルセットとパソコンを置くと移動するのも大変だし、書くスペースがたりなかったもので、どちらかにしぼったほうが良いと思いました。
- ・大変なのは、紙とタブレットとどっちも使ったり、初めてのが多かったことです。
- ・パソコンが急に変わったりして遅れたり、やり方が分からなかったところが大変だった。

学習者用デジタル教科書を用いた学習の良い点

- ・学習者用デジタルはスピードを調節できるし、アニメーションとかを見ながら英語を勉強できるところが良いと思った。
- ・日本語訳があったので、分からない単語があっても読むことができたし、何度も繰り返し聞けるので、良かったです。
- ・デジタル教科書で速さの調節などをできて、分かりやすかった。
- ・デジタル教科書で音声を聞くことで、一人で学習していても新たな発見があった。
- ・タブレットなどで学習をして、今までとは違ったやり方で分からないこともいろいろとあったけど、音声を聞きながら英文を読んだりして楽しかったこともたくさんありました。覚えることができなかつた単語も、タブレットを使ってやることで、覚えた単語が増えました。
- ・デジタル教科書だと分からない単語があったときに読めるようになったので良かった。
- ・デジタル教科書は実際に発音を聞いたり、聞きながら文も読めるので、もう少し活用できるように頑張りたいです。
- ・今までは教科書だけだったけど、デジタル教科書を使ってみて、英文の読み方が自分の好きなペースで知ることができるので、とても良いと思った。
- ・好きなときに英文を聞き返したり、日本語訳を見ながら聞くことができ、便利だった。操作が少し難しかったが、慣れればあまり問題はないと思う。
- ・音声を何度も聞いて、英語に少し慣れたような気がします。自分のペースでスピード、回数を選べるので、自分に合う学習方法で効率よくできたと思うので、良いと思います。
- ・デジタル教科書は場所もとらなくて、音声も出るので良かったです。
- ・ゆっくり聞くことができたし、何回も聞くことができたから読めるところが増えた。

頑張りたいこと

- ・自分は英単語が全く分からないので、意味をしっかりと覚えられるように頑張ります。
- ・翻訳などを見なくても英語の文章の意味が分かるようにしたいです。
- ・打ちこむのが大変だったので、速く打ちこめるようになりたいです。もっと文を工夫するのを頑張りたいです。
- ・自分の主張を英文にして伝えることが難しかったし、書くこともあまりできなかったの、書いたり伝えたりできるようにしたいと思った。
- ・商品を調べて、それについてもっと書けるように頑張る。
- ・頑張りたいことは、もっと英文を書けるようにしたいです。
- ・フェアトレードとおすすめ商品については書けたが、Google Jamboardに打ち込むことができなかったの、次に使うときは時間に余裕を持ってやりたい。
- ・字をすぐ打てるように頑張ろうと思った。

授業の感想

- ・調べたりするなどして、いつもの授業よりなるほどと思えることが多かった。みんなの意見を聞いて納得することができた。
- ・授業内容が楽しかった。
- ・ゆっくりなスピードで分かりやすかったし、英語で友達に紹介するなどとても楽しかった。
- ・フェアトレードについて詳しく知れたし、興味が出たので楽しかった。

<ul style="list-style-type: none"> ・この学習を通して、英語を話せるようになりたいと思ったので、話せるように頑張ります。自分を変える良い機会になりました。 ・みんなの英文を聞いたり、教科書などで調べて、フェアトレードについて自分の考えを書くことができるようになってよかった。 ・タブレットに（英文を）打つところまでいかなかったから、あともうちょっと時間がほしいと思った。
<p>大変だったこと</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・英語の文の内容を理解して、文を書く事が大変だった。 ・フェアトレードの良い所やおすすめの所などを英文で考えるのが大変だった。 ・フェアトレードについてたくさん調べたけど、良い点の英文の書き方が難しかった。
<p>頑張ったこと</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・文の構成や単語をどうするのか周りの人と話しながら考えた。 ・文にすることを頑張った。
<p>思考ツールの良い点</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・Google Jamboard で英文を作りやすかったし、どんなふうに英文を作ればいいのか理解することができました。 ・Google Jamboard があって、自分の考えを話したり書いたりしやすくなった。友達と英語で会話できたので、より英語を話したいと思ったし、会話が楽しかった。 ・タブレットを使った学習はキーワードを並び替えるものが、本文をしっかり読まないといけないので内容も分かってよかったです。

Ⅲ 質問紙

英語学習に関するアンケート 【事後】

このアンケートは、英語学習に関するアンケートです。このアンケートの回答は、学校の成績には関係ありません。それぞれの質問項目について、あなたの考えを答えてください。

3年 組 番 氏名 _____

1. あなたは、(1)～(6)の活動がどのくらい好きですか。
当てはまるものを1つずつ選び、**数字**に○をしてください。

		好き	好き どちらかといえば、	好き どちらかといえば、 好きではない	好き ではない
(1)	英語で話されている内容を 聞き取る活動 。	1	2	3	4
(2)	英語で書かれた文章を 読み取る活動 。	1	2	3	4
(3)	英語で自分の考えを友達と やり取りして話す活動 。	1	2	3	4
(4)	英語で自分の考えを 発表する活動 。	1	2	3	4
(5)	英語で自分の考えを 書く活動 。	1	2	3	4
(6)	英語の文章を 読んで、自分の考えを書く活動 。	1	2	3	4

2. あなたは、次のことについてどのように感じていますか。
次のア～エから1つ選んで、○をしてください。

英語で書かれた文章を**読んだことについて、自分の考えを英語で書く**ことができる。

- ア そう思う
イ どちらかといえば、そう思う
ウ どちらかといえば、そう思わない
エ そう思わない

3. 2で、ウまたはエに回答した人に聞きます。その理由はなぜですか。
次のア～エから選んで、○をしてください (**いくつ選んでもかまいません**)。

エを選んだ場合は、()に具体的な理由を日本語で書いてください。

- ア 英語の文章を読み取ることが難しいから。
イ 英語で書く内容が思い浮かばないから。
ウ 英語で書くことが難しいから。
エ その他 ()

4. (1) 今回の授業では、学習者用デジタル教科書やタブレットを使って学習しました。

次の①～⑧の使い方は、あなたが**英語を学習する際、役立ちましたか。**

当てはまるものを1つずつ選び、**数字**に○をしてください。

		役立った	やや役立った	あまり役立たなかった	役立たなかった	使用していない
	学習者用デジタル教科書					
①	スピードを調節して聞く。	1	2	3	4	5
②	何度も繰り返して聞く。	1	2	3	4	5
③	音声を聞きながら英語を読む。	1	2	3	4	5

		役立った	やや役立った	あまり役立たなかった	役立たなかった	使用していない
	タブレット					
④	Google Jamboard を使って、考えを整理する。	1	2	3	4	
⑤	Google Jamboard で考えを整理したことを見ながら、友達とやり取りして話す。	1	2	3	4	
⑥	Google Jamboard で考えを整理したことを見ながら、英語で書く。	1	2	3	4	5
⑦	読んだ内容についてさらに詳しく知るために、情報を調べる。	1	2	3	4	5
⑧	考えを英語で話したり書いたりするための英語表現を調べる。	1	2	3	4	5

- (2) (1) の①～⑧のうち、あなたが**特に役立ったと思う使い方**はどれですか。
 また、それはなぜですか。最大3つまで選んで下の表に記入してください。
 特にない場合は記入しなくてもかまいません。

特に役立った 使い方の番号	具体的な理由

- (3) (1) の①～⑧のうち、あなたが**役立たなかったと思う使い方**はどれですか。
 また、それはなぜですか。**選んだものすべてを**下の表に記入してください。
 特にない場合は、記入しなくてもかまいません。

役立たなかった 使い方の番号	具体的な理由

5. **学習者用デジタル教科書やタブレットを使った学習について**、全体的な感想を書いてください。
(良かったこと、楽しかったこと、頑張ったこと、大変だったこと、頑張りたいことなど、何でもかまいません)

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

これでアンケートは終わりです。記入もれがないか、もう一度確認してみましょう。
ご協力ありがとうございました。